

第 60 回
関西社会学会大会
プログラム

第 1 日 2009 年 5 月 23 日 (土)

第 2 日 2009 年 5 月 24 日 (日)

開催校
京都大学

第1日 5月23日(土)

◆理事会 13:00~13:30 (共北12)

◆受付開始 13:30

◆研究報告I 14:00~16:30

[第1室] 理論・学説I (共北25) 司会: 厚東洋輔 (関西学院大学)

1. 社会学の「機能主義」とは何であったか
——general orientationの理論的な役割——
新 睦人 奈良女子大学
2. 初期シカゴ学派の総合的社会認識の方法論的含意
西川知亨 京都大学
3. 批判理論の新たな認識論に向けて
——A.ホネットの「世界を切り開く批判」——
大畠 啓 西南女学院大学
4. ベルリンの壁崩壊と知識人
——社会への介入の形式をめぐって——
木村裕之 佛教大学

[第2室] 理論・学説II (共北26) 司会: 鈴木正仁 (滋賀大学)

1. 価値合理的行為の解釈をめぐって
——合理的選択理論による解釈および今後の課題——
山本博子 京都大学
2. 現代社会における自己とコミュニティの係留関係
——社会学的自己論の系譜——
河井 亨 京都大学
3. アクターネットワーク理論の存在論的含意とその問題点
——批判的实在論の立場から——
山本耕平 京都大学
4. 危機管理の社会学的考察
寺口靖宏 広島国際学院大学

[第3室] 社会調査法 (共北27) 司会: 吉川徹 (大阪大学)

1. 「応用倫理」としての「研究倫理」・「調査倫理」
——組織と教育の視点から——
岩本健良 金沢大学
2. オーストラリアにおける社会調査の実施状況
——大学および政府機関での聞き取り調査から——
○俵 希實 金沢大学
轟 亮 金沢大学
3. 国際文化交流機関の評価調査方法の開発
——国際交流基金(Japan Foundation)の評価調査の事例研究——
真鍋一史 青山学院大学

[第4室] 家族Ⅰ（共北28） 司会：落合恵美子（京都大学）

- | | | |
|--|-------|--------|
| 1. 子どもの誕生による夫婦関係満足度の変化 | 村上あかね | 東京大学 |
| 2. 里親制度に関する一考察 | 園井ゆり | 活水女子大学 |
| 3. 英国「Sure Start」プログラムの理念と実践
——英国サルフォード市の事例から—— | 村田泰子 | 関西学院大学 |

[第5室] 地域社会Ⅰ（共北31） 司会：筒井琢磨（皇學館大学）

- | | | |
|---|-------|----------|
| 1. 合併自治体における高齢者の生活
——合併評価から見える中心周辺格差—— | 杉本久未子 | 大阪人間科学大学 |
| 2. 合併自治体における高齢者の生活
——地域福祉に注目して—— | 田中里美 | 広島国際学院大学 |
| 3. 限界集落の現状 | 御菓袋啓子 | |
| 4. 地域社会におけるテレビドラマの受容と利用過程
——「鹿男あをによし」の事例から—— | 大淵裕美 | 奈良女子大学 |

[第6室] 都市Ⅰ（共北32） 司会：早川洋行（滋賀大学）

- | | | |
|--|-------|-------|
| 1. 初期シカゴ学派社会学のパーспекティブ
——第1次的関係と第2次的関係のせめぎ合い—— | 高山龍太郎 | 富山大学 |
| 2. 権威主義的伝統主義における地域文脈効果の検討
——マルチレベルモデルを用いて—— | 赤枝尚樹 | 大阪大学 |
| 3. 在日中国人の趣味ネットワーク
——大阪におけるサッカークラブの事例から—— | 巴 芳 | 同志社大学 |

[第7室] 都市Ⅱ（共北33） 司会：岩崎信彦（神戸大学）

- | | | |
|--|------|--------|
| 1. 地図としての郊外
——千里ニュータウンを事例として—— | 松岡慧祐 | 関西大学 |
| 2. 商店街における自営業者の空間的実践と地域社会
——大阪市浪速区「新世界」を事例として—— | 八木寛之 | 大阪市立大学 |
| 3. 都市と性を語る視点への考察
——大阪市北区堂山町を事例として—— | 鹿野由行 | 甲南大学 |
| 4. 食安全プログラムを埋め込んだエコシティ
——兵庫県豊岡市と愛媛県今治市の比較—— | 碓井 崧 | |

[第8室] 文化Ⅰ（共北34） 司会：石田佐恵子（大阪市立大学）

1. Th.W.アドルノの指揮者論
——現代への可能性の観点から——
平田誠一郎 関西学院大学
2. 芸術至上主義の社会学
——〈ベートーヴェン〉にみる芸術と近代——
川本彩花 京都大学
3. 社会主義体制と「現実」
——ポーランド・ドキュメンタリー映画の検討から——
菅原 祥 京都大学
4. 「内鮮一体」プロパガンダと帝国の文化政策
——朝鮮映画製作株式会社と『朝鮮海峡』——
周東夏希 京都大学

[第9室] 文化Ⅱ（共北35） 司会：飯田剛史（大谷大学）

共同報告：祭礼研究における文化圏的アプローチ——だんじり祭の維持と変容——

1. (1) 現代社会における祭礼の経験的理解に向けて
有本尚央 京都大学
- (2) 岸和田市春木地区におけるだんじり祭の維持と祭礼文化圏
吉田竜司 龍谷大学
- (3) 堺市鳳地区におけるだんじり祭の変容と祭礼文化圏
野中 亮 大阪樟蔭女子大学

[第10室] 社会病理・社会問題Ⅰ（共北36） 司会：三浦耕吉郎（関西学院大学）

1. 複合下層としての都市型部落（1）
——実態調査からみる「A地区」における貧困化と流動化——
岸 政彦 龍谷大学
2. 複合下層としての都市型部落（2）
——生活史調査からみる「A地区」への流入パターン——
齋藤直子 大阪樟蔭女子大学

共同報告：被差別部落女性と差別・不平等——被差別部落女性の実態調査から——

3. (1) アイデンティティ・差別・社会関係
内田龍史 大阪市立大学
- (2) 学歴・就業の格差縮小と再不安定化の兆し
妻木進吾 大阪市立大学

[第11室] ジェンダー（共北37） 司会：大山治彦（四国学院大学）

1. 精神分析におけるセクシュアリティ概念の「拡大」
——その特異性の解明をめぐって——
古川直子 京都大学
2. おたく的な欲望の「受容しがたさ」をめぐる一考察
——腐女子の「語り」と「表象」を通して——
相田美穂 広島市立大学
3. 女子競輪を通して考える女性プロスポーツの課題と可能性
——GIRL'S KEIRINという「実験」を中心に——
古川岳志 大阪大学

[第 12 室] 市民社会論・比較社会学 (共北 38) 司会：瀧本佳史 (佛教大学)

- | | | |
|---|-------|-------------------|
| 1. 社会統合政策の比較社会学
——国民国家とグローバリゼーションのインパクト—— | 安達智史 | 日本学術振興会
(東北大学) |
| 2. 1960年代アメリカ市民社会と個人化
——草の根保守主義団体<ジョン・バーチ協会>を中心に—— | 森山貴仁 | 京都大学 |
| 3. 地域市民社会の形成
——スウェーデン過疎地域における地域創生活動—— | 太田美帆 | 立命館大学 |
| 4. イタリアの若者のキャリア形成とソーシャル・ネットワークの役割 | 土岐智賀子 | 立命館大学 |

◆総会 16:45～17:30

◆懇親会 18:00～20:00

第2日目 5月24日(日)

◆受付開始 9:30

◆研究報告Ⅱ 10:00~12:30

[第1室] 理論・学説Ⅲ(共北25) 司会:三上剛史(神戸大学)

1. 再帰性と市場
——ラッシュの再帰性概念に注目して——
中西真知子 中京大学
2. 《当事者性》論小括序
——特に、物象化・法制化・環境管理・情報環境論を軸に——
福永英雄 京都大学
3. 身体技法の「伝承」再考
——マンチェスターの太極拳教室を事例に——
倉島 哲 関西学院大学
4. 死を定義する社会
——時間社会学の視点から——
今津孝次郎 金城学院大学

[第2室] 家族Ⅱ(共北26) 司会:宮坂靖子(奈良大学)

1. アーネスト・バージェスの日本家族社会学への受容と現代的意義
——結婚の幸福度尺度、家族周期論、ポストモダン家族——
鎌田大資 椋山女学園大学
2. 家族構成と教育の不平等
——母子家庭と父子家庭の比較を中心に——
白川俊之 同志社大学
3. 「介護の見返りとして資産を譲る」についての高齢者の意識
——予備的インタビュー調査の結果から——
大和礼子 関西大学

[第3室] 地域社会Ⅱ(共北27) 司会:吉田秀和(龍谷大学)

1. 炭鉱社会の経験をとらえなおす(1)
——長崎市高浜町における端島・高島炭鉱閉山後の生業の変容と対応——
井上博登 早稲田大学
2. 炭鉱社会の経験をとらえなおす(2)
——三池炭鉱の社宅コミュニティへの評価をめぐって——
西牟田真希 関西学院大学
3. 炭鉱社会の経験をとらえなおす(3)
——記憶の公共化における地域社会とNPOの重層的関係——
木村至聖 日本学術振興会
(京都大学)

[第4室] 都市Ⅲ(共北28) 司会:荻野昌弘(関西学院大学)

1. 都市におけるコンビニエンス・ストアの変遷と現代的役割
——CVSとそれを取り囲む人々との相互作用に注目して——
石井和也 京都大学
2. 都市における公/私の境界線をめぐる政治
——東京・京都におけるコンビニエンスストアの事例から——
西川純司 京都大学
3. コンビニエンスストアと「圧縮された近代」
——定量的国際比較と事例研究から——
柴田 悠 京都大学
4. コンビニエンスストアによる「地域再生」の可能性と課題
——CVS店舗オーナーへの聞き取り調査から——
松谷実のり 京都大学

[第5室] 職業・労働 (共北31) 司会: 佐藤彰男 (龍谷大学)

1. 現代若者の労働観
——“やりたいこと”と労働の“脱魔術化—再魔術化”—— 寺崎正啓 神戸大学
2. 従業上の地位による世代内移動表の分析
——若年層における正規雇用の流動化と非正規雇用の固定化—— 歸山亜紀 金沢大学
3. ポストモダンの職場管理
——コールセンターを対象として—— 高木裕宜 文京学院大学
4. 酒造技術者の職業人性と地域技術者ネットワーク
——伏見酒造業を事例として—— ○藤本昌代 同志社大学
○河口充勇 同志社大学

[第6室] 文化Ⅲ (共北32) 司会: 永井良和 (関西大学)

1. 笑い構造に関する考察
——間身体的な対象認識として—— 銭廣承平 京都大学
2. コーヒーをめぐる消費コードの再編
——イデオロギーとしての「公正」「環境保護」「健康」—— 中根光敏 広島修道大学
3. インターネット・ユーザーが表現活動を通して求めるもの
——「ダンスオフ会」を事例として—— 谷村 要 関西学院大学
4. メディア言説の隙間をく読む
——あるフォークソング歌手のライフヒストリーを通して—— 東谷 護 成城大学

[第7室] 宗教 (共北33) 司会: 大村英昭 (関西学院大学)

1. 日系アメリカ人の再定住期 (1942-1952) における浄土真宗本願寺派仏教の機能
——アメリカ社会と日系アメリカ人の間にある社会秩序を通して—— 檜崎寿子 龍谷大学
2. 富士講身祿派の拡大
——カリスマの制度化の観点から—— 渡邊秀司 佛教大学
3. 〈食〉はいかにして近代をつくったか
——ユダヤ教の食事規定を基点として—— 小田雄一 京都大学
4. 生態史観的視角からみたある一神教の成立と展開をめぐる一考察
——M.ヴェーバー「古代ユダヤ教」への補遺—— 神谷国弘 関西大学

[第8室] 社会病理・社会問題Ⅱ (共北34) 司会: 高原正興 (京都府立大学)

1. 制度的アノミー論の可能性 平野孝典 大阪大学
2. 詐欺と変身という観点からみた場合の非行 松本隆志 関西学院大学
3. 日本の多重債務運動と改正貸金業法
——当事者と専門家の相互作用分析—— 大山小夜 金城学院大学
4. 行政の主体性と住民の行政依存という「問題」
——京都市における同和行政をめぐる議論状況から考える—— 山本崇記 立命館大学

【第9室】 福祉・医療（共北35） 司会：平英美（滋賀医科大学）

1. アドボカシーの社会学に向けて
——アメリカの権利擁護 NPO に関する研究から—— 高橋涼子 金沢大学
2. いのちの電話相談員の士気低下を招く諸要因について
——2度の質問紙調査の比較から—— 平井正三郎 大阪市立大学
3. 楽観的「闘病論」構築のためのエスキス
——がん治療10ヵ月に及ぶ入院経験のフィールドワークから—— 前田益尚 近畿大学
4. フランス「患者の権利と生命の末期に関する2005年4月22日法」の国会審議の検討 新田千春 立命館大学

【第10室】 エスニシティ（共北36） 司会：二階堂裕子（(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構）

1. グローバル化する地域社会と民族関係の中のポリティクス
——兵庫県三田市の多文化まつりにおける取り組みを事例に—— 稲津秀樹 関西学院大学
2. 在日ベトナム人の定住過程
——在日ベトナム人コミュニティの事例から—— 高橋 椿 大阪市立大学
3. 実践のコミュニティにおける在日朝鮮人3世代のエスニック・アイデンティティの展開
——「在日韓国学生同盟京都府本部」の活動実践から—— 片田孫晶 京都大学
4. ディアスポラ・コミュニティにおけるクレオール料理
——沖縄・日系南米人接触領域のエスニシティ—— 安井大輔 京都大学

【第11室】 歴史社会学（共北37） 司会：田野大輔（甲南大学）

1. 廣松渉の近代観
——京都学派の「近代の超克」論との比較から—— 渡辺恭彦 京都大学
2. 洛東「芸術家村」における知の公共圏
——知識人とその役割—— 園 知子 京都大学
3. 公共圏の構築と変容
——社交団体交詢社の分析を中心に—— 竹内里欧 ユバスキュラ大学
4. 盛岡の近江商人
——村井市左衛門家にみる家業継承と仏教信仰—— 窪田和美 龍谷大学

◆ポスターセッション（北棟1階 Bell Lounge）10:00～13:30

- 利潤分配制度の我が国への受容・変容と労使協調
——アナーキズムと社会主義の受容と変容関係から読み解く—— 鈴木啓史 大阪大学
- 生活保護受給者の就労実態
——元野宿生活者の生活誌をもとに—— 渡辺拓也 大阪市立大学
- 住民運動をめぐる住民視点の重要性
——裁判闘争に用いられた科学的測定手法の比較から—— 高倉弘士 立命館大学
- 都市形成主体の東西比較
——ヴェーバー都市論への批判的補遺—— 南裕一郎 関西大学

◆シンポジウム 13:30~17:00

第1シンポジウム 包摂と排除のアポリア——多文化状況でのエスニック・アイデンティティ(共北25)

司会: 沢田善太郎(広島国際学院大学)・野々山久也(甲南大学)

第1報告 「日本人」と「外国人」の間
——コリア系日本人という試み—— 佐々木てる 早稲田大学

第2報告 在日フィリピン人の介護労働参入に伴う新たな「民族関係」形成 高畑 幸 広島国際学院大学

第3報告 日本における中国ウイグル族の異文化体験に関する考察 安蒂娜・安瓦尔(アンワル・アディナ)
——関西地方在住のウイグル族を事例として—— 中国新疆大学

討論者 谷 富夫 大阪市立大学
安里和晃 京都大学

第2シンポジウム 演繹的社会学の「復権」(共北26)

司会: 高坂健次(関西学院大学)・田中滋(龍谷大学)

第1報告 演繹的研究のコアとしての数理モデル 浜田 宏 東北大学

第2報告 数理社会学・リベラル・公共性 太郎丸博 京都大学

——プロ社会学は社会のために何を語りうるか——

第3報告 理論の外へ、もしくは<対話>としての社会学 三浦耕吉郎 関西学院大学

討論者 高瀬武典 関西大学
吉川 徹 大阪大学

事務局よりお願い

- ・会場および周辺では配布資料のコピーサービスはできませんので、報告者は50部程度ご用意ください。
- ・機器や接続には故障や不具合がある場合があります。万一に備え、機器なしでも滞りなく発表できるようにご準備ください。機器を利用する方は、部会の始まる30分前に報告教室にお集まりいただき、その教室で機器が正常に作動するかを確認してください。
- ・ポスター報告は、5月24日(日)9時30分までに所定の位置にお集まりいただきポスター掲示をしてください。時間中は原則としてポスターの前にいるようにしてください。ポスターの掲示スペースは、縦 150cm×横 100cm程度以内でお願いします。

開催校よりお願い

- ・大会当日のクロークとして、共北12教室で受け付けております。
- ・会員控え室は、北棟1階 Bell Lounge を用意しています。
- ・昼食は、大学本部構内もしくは近くの食堂などの案内地図を大会当日にお配りしますので、ご利用ください。